



がん検診・健康診査のお知らせ

▶問い合わせ 健康課 ☎73-3014

がん検診

●子宮頸がん、乳がん検診

三豊市・観音寺市の指定医療機関検診または下記の集団検診で受診できます。
 集団検診を受ける場合は、7月に届いた白い封筒を忘れずにお持ちください。詳しくは同封の「ご案内」をご覧ください。
 指定医療機関で受ける場合は、医療機関用の受診票が必要です。申し込みがまだの人は、健康課までお問い合わせください。

場所	検診日	受付時間		託児時間
		子宮頸がん検診	乳がん検診	
市民交流センター	8月17日(金)	12時45分～15時 (14時検診開始)	予約時間を個別通知でお知らせします (完全予約制)	12時45分～ 検診終了まで
	8月19日(日)			
	8月20日(月)			
	8月21日(火)			
市民センター 仁尾(仁尾庁舎)	8月27日(月)	12時45分～15時 (14時検診開始)	予約時間を個別通知でお知らせします (完全予約制)	12時45分～ 検診終了まで
	8月28日(火)			
マリンウェーブ	8月29日(水)	12時45分～15時 (14時検診開始)	予約時間を個別通知でお知らせします (完全予約制)	12時45分～ 検診終了まで
	8月30日(木)			
	8月31日(金)			
	9月2日(日)			

※8月19日と9月2日は日曜検診を行います。

●胃がん、大腸がん、結核・肺がん検診

集団検診を下記の日程で行います。詳しくは8月末頃に届く「ご案内」をご覧ください。

【胃がん・大腸がん検診】

集団検診の申し込みをしている人には、8月末頃案内が届きます。指定医療機関でも受診できます。その場合には医療機関用の受診票が必要です。申し込みがまだの人は健康課までお問い合わせください。
 ※医療機関で胃がん検診を受けられる人は、50・52・54・56・58歳(平成31年4月1日時点の年齢)のみです。

【結核・肺がん検診】

6月に案内を送付しています。

場所	検診日	結核・肺がん検診、大腸がん検診 受付時間	胃がん検診
マリンウェーブ	9月3日(月)	9:00～11:00	申し込みをしている人には、個別通知で日時をお知らせします
	9月5日(水)		
	9月6日(木)		
	9月7日(金)		
	9月8日(土)		
	9月9日(日)		
9月10日(月)			
緑の村管理センター	9月4日(火)	9:00～11:00	
箱浦ビクターハウス	9月4日(火)	13:30～14:00	
第4分館老人いこいの家	9月6日(木)	13:30～14:00	
松崎コミュニティセンター	9月10日(月)	13:30～14:30	

※9月8日、9日は土曜・日曜検診を行います。

★以降の胃がん、大腸がん、結核・肺がん検診の日程は、広報ひとよ9月号でお知らせします★

健康診査

集団検診で特定健康診査・健康診査を受診していない人は、三豊市・観音寺市の指定医療機関で10月31日(水)まで受診できます。受診の際には6月に届いている水色の封筒と健康保険証を必ず持参ください。受付時間は医療機関にお問い合わせください。



2人目の
 地域おこし協力隊に
 澤井元気さん



三豊市では、今年度から地域おこし協力隊を採用し、4月から一人目の隊員の石井優香さんが活動をしています。そして、7月からは新たに大阪府出身の澤井元気さんが着任し、地域協力活動を開始しました。
 柔らかな物腰と優しい話し口調から、穏やかな人柄がにじみ出ている澤井さん。地域おこし協力隊に挑戦したきっかけと、

今後の三豊市での活動や暮らしに対する抱負を聞きました。
憧れの暮らしを求めて家族とともに三豊市へ
 三豊市への移住前、澤井さんは1歳の娘さんと奥さんと東大阪で暮らしていました。
 「子どもが産まれてからは、将来的に家族とともに自然豊かな土地で暮らしたいという思い

が強くなくなっていきました。そんな思いを持っていった頃、三豊市に住んでいる友人に会いに行くことがありました。その時、三豊市に移住してきた人たちが話をすることがあり、子どもたちがのびのびと暮らしている様子を聞いて、自分の子育てや暮らしに対するイメージとぴったりだと思いました。また、山や海の風景が穏やかなところも魅力だと感じました」
 三豊市を移住の地とするうえで、働く場所を探していたところ、市が地域おこし協力隊を募集していることを知りました。応募したところ、採用が決まり、三豊市への移住が現実のものとなりました。

これまでの経験を生かして地域の人の役に立ちたい

澤井さんは地域おこし協力隊として、これから3年間、山本・財田地域を中心に地域の活性化に向けた活動を行っていきます。地元の人たちにとっても、地域おこし協力隊の2人が新しい視点で地域活動に関わってくれることは、良い刺激となると同時に、さらなる発展にもつながっていきます。

「これから、地域の皆さんと積極的に関わっていき、つながりを作りながら、役に立てることは何か」を探していきたいと思っています。以前は、家具の製作会社で鉄製のフックやドアハンドルなどを作っていたので、そうした物づくりの経験を生かすことができればいいですね。また、農業にも興味がありますので、自分でも畑仕事に挑戦しながら、できることを見つけていければと思います」

地域おこし協力隊の仕事とプライベート、どちらも充実させていきたいと澤井さん。ものづくりをしてきた経験からは、「やりたいことを形にしていける力」を培ってきたそう。三豊市でもその力を活用してアイデアを実現していくことができるはず！と期待が高まります。



▲所属先の田園都市推進課で、先輩隊員の石井さんと次の活動に向けて打ち合わせ



▲財田町のこすもす広場の手伝いに参加した澤井さん。まずは地域の活動を知るところから始めていきます



▲「三豊市をどんどん盛り上げていてください」と市長。澤井さんの今後の活動を応援しました

▶問い合わせ 田園都市推進課 ☎73-3011